

科目名	病理学実習 (Practice in Pathology)			科目コード	408
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (45時間)
科目区分	専門科目	履修時期	2 年次後期	関連DP	臨①②③
担当教員	則松 良明、細川 翔				
授業概要	光学顕微鏡で観察する試料の作製方法とその技術を実習する。また、HE染色や特殊染色、免疫染色等の組織標本(呼吸器系、循環器系、消化器系、泌尿器系、女性生殖器系等の正常および病変組織)を光学顕微鏡によって詳細に観察し、人体内部を構成する正常および病変の組織学的特徴を学習する。				
授業目標	ホルマリン固定後にパラフィン包埋された組織でのパラフィンブロックについて、マイクロームによる薄切を行い、標本の作製技術を習熟する。 また、種々の染色がなされた組織標本を光学顕微鏡によって詳細に観察し、人体内部を構成する臓器、組織の正常像、病変像のスケッチを行うことで、その形態的特徴および染色の意義を習熟するとともに、疾病の成因と病態について理解する。				

授業計画

回	項目	内容
1～2	光学顕微鏡試料作成法(1)	組織パラフィンブロックの薄切および標本作製
3～4	光学顕微鏡試料作成法(2)	組織パラフィンブロックの薄切および標本作製
5～6	正常・病変組織の観察(1)	呼吸器系疾患の観察(肺感染症、腫瘍)
7～8	正常・病変組織の観察(2)	呼吸器系疾患の観察(肺感染症、腫瘍) 甲状腺疾患の観察(炎症、腫瘍)
9～12	正常・病変組織の観察(3)	甲状腺疾患の観察(炎症、腫瘍) 循環器系疾患の観察(心筋梗塞、動脈硬化、動脈瘤)
13～14	正常・病変組織の観察(4)	循環器系疾患の観察(心筋梗塞、動脈硬化、動脈瘤) 消化器系疾患の観察(食道・胃の腫瘍)
15～16	正常・病変組織の観察(5)	消化器系疾患の観察(食道・胃の腫瘍) 消化器系疾患の観察(大腸・膵臓の腫瘍)
17～18	正常・病変組織の観察(6)	消化器系疾患の観察(大腸・膵臓の腫瘍) 消化器系疾患の観察(肝炎・肝硬変)
19～20	正常・病変組織の観察(7)	消化器系疾患の観察(肝炎・肝硬変) 女性生殖器系疾患の観察(子宮頸部・子宮体部・乳腺腫瘍)
21～22	正常・病変組織の観察(8)	女性生殖器系疾患の観察(子宮頸部・子宮体部・乳腺腫瘍) 泌尿器系疾患の観察(腎炎、尿路腫瘍)
23	正常・病変組織の観察(9)	泌尿器系疾患の観察(腎炎、尿路腫瘍)
成績評価方法	レポート(20%)、筆記試験(80%)で評価する。	
教科書	松原修・鴨志田伸吾・大河戸光章他「臨床検査学講座 病理学/病理検査学」(医歯薬出版) 水口國男・石川喜美男・三瓶接子「カラー版 組織アトラスー正常と病変ー」(医歯薬出版)	
参考図書等	水口國男・伊藤機一・設楽政次「最新 染色法のすべて」(医歯薬出版)	
授業時間外の学習について		
関連科目	144, 145, 146 人体の構造・機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
備考	実 則松、細川：臨床検査技師(医療機関)	